

県政報告

広島県議会は、新型コロナウイルス感染症への緊急対応策を速やかに実施できるよう、5月臨時会（5/14・15）及び6月臨時会（6/10・11）を開催し、補正予算を審議しました。また、6月定例会は6月25日から7月6日までの12日間の日程で開催され、補正予算や条例改正などを審議しました。

《令和3年度5月臨時会の概要》

■補正予算 583億8,500万円

1 新型コロナウイルス感染症緊急対応 57,385百万円

(1) 感染拡大防止対策 [57,385百万円]

○PCR検査体制の強化 県内各地域のPCRセンターによる検査、広島市・福山市での薬局を活用したPCR検査の実施	165百万円
○新型コロナウイルス感染症拡大防止協力支援 飲食店や大規模施設等において、県からの休業や営業時間の短縮要請に協力した店舗に対する支援	57,220百万円

2 その他 1,000百万円

○緊急的な措置への対応 今後の不測の事態に対応するため、予備費を増額	1,000百万円
---------------------------------------	----------

《令和3年度6月臨時会の概要》

■補正予算 226億3,600万円

1 新型コロナウイルス感染症対策の強化 22,636百万円

(1) 感染拡大防止対策 [20,256百万円]

○新型コロナウイルス感染症拡大防止協力支援 飲食店等への時短要請等の対策が必要となった場合に、県からの要請に協力した店舗に対する支援	18,486百万円
○宿泊事業者に対する感染防止対策等支援 感染症対策に資する物品の購入等や、ワーケーション等に対応した施設改修等の感染防止対策に取り組む宿泊事業者への支援	1,770百万円

(2) 3密を避けた事業継続と雇用維持 [2,380百万円]

○頑張る中小事業者月次支援金 緊急事態措置等に伴う飲食店の休業・時短や外出自粛等の影響により、売上が減少している中小事業者に対して、国の支援金に加えて幅広い支援を実施する。	2,380百万円
-------------------------------------------------------------------------------------------	----------

《令和3年度6月定例会の概要》

■補正予算額 545億2,000万円 [基金積立を除く実質事業費]

新型コロナウイルス感染症の拡大による様々な課題に迅速かつ適切に対応するため、国の交付金等を活用し、感染症対策を実施します。

また、令和3年度当初予算編成後の状況変化等を踏まえ、必要性が認められる事業に適切に対応することを基本として、それぞれの欲張りなライフスタイルの実現に向けた取組や創造的復興による新たな広島県づくりなどに時機を逃さず対応します。

1 新型コロナウイルス感染症対策の強化 53,259百万円

(1) 感染拡大防止対策 [11,449百万円]

○PCR検査体制の強化 行政検査に必要な試薬の購入や検査機関の設備整備、PCRセンター等の継続的な設置・運営などを実施	3,300百万円
○医療従事者や介護施設等職員の検査体制の強化 医療従事者や重症化しやすい高齢者、障害者が入所する施設の職員を対象に定期的なPCR検査等を継続して実施	458百万円
○患者搬送体制の整備 軽症患者等の搬送業務の民間事業者への委託を継続して実施	697百万円
○飲食店における感染防止対策 広島積極ガード店の登録店舗における感染防止対策の実施状況を確認するための実地調査を継続して実施	96百万円
○ワクチン接種体制の整備 ワクチン接種を円滑に行うため、医療従事者に対する接種体制の整備や市町の住民接種体制の整備を支援	1,774百万円
○ワクチン接種体制の加速 ワクチン接種の加速を目的に、一般接種での県の大規模接種会場を設置、市町の個別接種の促進、職域接種に対する支援	5,125百万円

(2) 医療提供体制の確保 [32,469百万円]

○病床の確保 新型コロナウイルス感染症患者の入院病床を確保するための空床補償として、医療機関に対し必要な経費を継続して支援	19,468百万円
○宿泊療養施設の確保 陽性無症状患者及び軽症者が安静・療養可能な受け入れ施設を確保するための宿泊施設を継続して借上・運営	10,998百万円
○医療提供体制の確保 新型コロナウイルス感染症患者の受入病床を拡充する医療機関等の設備整備等への支援や重症患者に対応する医療従事者への研修	1,549百万円
○県立病院における医療提供体制の確保 県立病院における新型コロナウイルス感染症患者受入病床拡充のために必要な設備整備等を実施	137百万円
○医療従事者への特殊勤務手当の支給 新型コロナウイルス感染症患者に対応する医療従事者へ特殊勤務手当を支給する医療機関に対し、必要な経費を継続して支援	184百万円
○患者搬送車両の整備 患者の搬送車両を追加整備、市町の搬送車両の整備を支援	133百万円

(3) 3密を避けた事業継続と雇用維持 [5, 383百万円]

○外国人材受入企業等への支援 国から要請されている入国後の待機費用など、県内中小企業等が外国人材の受入れにあたって生じる追加的に必要となる経費を支援	95百万円
○金融支援制度の活用促進 経営の安定に支障が生じている企業の資金繰りを支援するため、各金融支援制度の説明会等を実施	5百万円
○小売業ECイノベーション実装支援 EC等を通じて、革新的な手法により国内外の販路の開拓・拡大に向けてモデル的に取り組む県内小売事業者を支援	200百万円
○頑張る中小事業者月次支援金 緊急事態措置の終了後においても、県の集中対策の影響を受け、売上が減少する中小事業者を引き続き支援するための増額	360百万円
○広島空港の航空ネットワークの維持に向けた支援 旅客需要激減で広島空港の定期路線の維持が極めて困難になっていることから、航空会社等に対し路線の維持に必要な支援を実施	63百万円
○指定管理者制度導入施設に対する運営支援 県からの指示・要請により利用料収入の減少等の影響を受ける指定管理者に対して、施設の運営に必要な指定管理委託料を増額	188百万円
○港湾施設使用者に対する事業継続や雇用維持に向けた支援 人流の抑制によって大幅な売上減少に直面している港湾施設使用者に対し、港湾施設使用料の減免措置を延長	243百万円
○観光誘客の促進 厳しい環境にある旅行業者等に対し、落ち込んだ観光需要の早期回復を図るため、感染状況を踏まえた上で宿泊割引等の支援を実施	4,229百万円

(4) その他 [3, 957百万円] [基金積立を除く実質事業費]

○個人向け緊急小口資金等の特例貸付の実施 休業等のため、一時的な資金が必要な世帯への貸付に必要な資金を増額	3,957百万円
○新型コロナウイルス感染症対策基金への積立 新型コロナウイルス感染症に関して受領した寄附金を基金へ積立	38百万円 [基金積立]

2 それぞれの欲張りなライフスタイルの実現 49百万円

(1) 県民が抱く不安を軽減し『安心』につなげる [49百万円]

○地域医療構想の策定 広島都市圏を中心とした地域医療構想実現に向け必要な医療機能等を示す拠点ビジョンの策定	49百万円
----------------------------------------------------------	-------

3 創造的復興による新たな広島県づくり 350百万円

(1) 将来に向けた強靱なインフラの創生 [350百万円]

○平成30年7月豪雨災害対応 福川大規模特定河川工事において発生した一般国道2号の歩道路面陥没の発生原因を踏まえた追加対策等を実施	350百万円
----------------------------------------------------------------------	--------

○旧広島陸軍被服支廠の安全対策等の実施 旧広島陸軍被服支廠の安全対策を進めるとともに、文化財指定に向けた、建築物の価値の調査や建物の管理・活用の方向性に係る検討を実施	66百万円 債務114百万円
○離職者に対する緊急就業支援 構造不況に伴う事業縮小や倒産等により発生する大規模離職に備え、国・県・地元市町の三者が一体となって合同企業面接会の開催などにより、再就職を支援	22百万円
○豚熱のまん延防止 近隣県における豚熱の発生状況を踏まえ、本県が豚熱ワクチン接種推奨地域に設定された場合に、県内の養豚農場等における豚熱のまん延防止を図るため、速やかに飼養豚等に対するワクチン接種等を実施	121百万円
○海田大橋の利便性の向上 港湾物流等の円滑化や利用者の利便性向上に向け、ETC搭載車を対象に海田大橋の使用料を引き下げるとともに、使用料引き下げに必要なETCシステムの改修を実施	15百万円
○緊急的な措置への対応 今後の不測の事態に対応するため、予備費を増額	600百万円

《新型コロナウイルス感染症対応の累計》

総額 3,613億8,200万円

令和2年度までの累計	179,891
令和3年度現計予算（補正前）	48,212
令和3年度5月補正（臨時会）	57,385
令和3年度6月補正（臨時会）	22,636
令和3年度6月補正（定例会）	53,259

※基金積立を除く実質事業費

※ 百万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

■条例〔15件〕

【新設】（1件）

○過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に規定する産業振興促進区域における県税の課税免除に関する条例

【改正】（14件）

○広島県防災対策基本条例及び広島県「みんなで減災」県民総ぐるみ運動条例の一部を改正する条例 など

■人事案件〔3件〕

- 広島県公安委員会委員の任命の同意について
- 広島県人事委員会委員の選任の同意について
- 広島県監査委員の選任の同意について

■その他の議案〔2件〕

- 広島県新動物愛護センター施設整備事業における特定事業に係る契約の締結について など

■報告事項〔1件〕

- 県が資本金の四分の一以上を出資等している法人の経営状況説明書

■意見書〔2件〕

- 地方鉄道の維持・確保を求める意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書

えいけい
「叡啓大学」が誕生しました！

～新しい県立大学が広島市中心部に開学～

- 今春、県立大学として新たに「叡啓大学」が開学しました。ソーシャルシステムデザイン学科の単科大学で、キャンパスは広島駅から徒歩10分の好立地にあります。
- この大学は、「未来を啓く人材育成」を目標に、世界を視野に入れ、SDGsの枠組みに基づき、新たな価値創造を行う突き抜けた人材を育成します。

《3つの特色》

1 社会を変える「実践力」を育てます！

企業や自治体の課題を演習テーマとして設定し、実社会のリアルな課題に挑む課題解決演習など、解決へのプロセスを実践的に学び、最後までやり抜く実践力を培います。

2 社会を生き抜く「教養力」を身に付けます！

ICTやデータサイエンス、ロジカルシンキング、デザイン思考など、今後の社会で必要とされるスキルを身に付けます。また、実践的な英語力の習得を目指し、半分以上の授業を英語で履修します。

3 グローカル～広島から世界へ

4人に1人が留学生という環境で、多様性を尊重する国際感覚を身に付けます。自らの力で課題を探って解答を導き出す力と国際感覚を身に付けた学生たちは、グローバルに展開する企業、社会貢献活動を行うNGO、国際機関など発想力が求められる多彩な分野での活躍が期待されます。

開学年日	令和3年4月1日
学部・学科	ソーシャルシステムデザイン学部 ソーシャルシステムデザイン学科
定員数	1学年100人（うち留学生 20人）
所在地	広島市中区幟町1-5



広島県監査委員の活動

～監査委員として2年間の任期を終えて～

- 監査委員は、県の行財政の執行が最少の経費で最大の効果を挙げているか、組織及び運営の合理化に努めているかなどの観点から、事務の執行や決算などについて監査を行っています。この制度は地方自治法に規定されているものです。
- 県には監査委員が4名置かれており、私は令和元年5月に監査委員に任命され本年6月までその役割を担いました。
- 監査委員としての具体的な活動は、年間30件ほど県の機関や団体への監査を行い、月に2回程度の監査委員会議でその結果のとりまとめを行います。そして3月には監査委員意見書として知事に提出し意見交換を行っています。その他にも、県の決算を審査し9月に決算審査意見書を知事に提出しています。
- 監査の現場では、分厚い調書を前にして汗をかきながら監査に臨んだことを思い出しますが、「言うべきことは言う」という信念を曲げず、知事に対しても課題を指摘してきました。この2年間、与えられた任務を果たしたと思っています。

《主な活動》

- ◆ 県の執行機関や財政的援助団体に対する定例監査・随時監査（年間約30件）
- ◆ 県の決算審査，知事に対する決算審査意見書の提出
- ◆ 出納検査
- ◆ 知事に対する監査委員意見書の提出
- ◆ 監査委員会議（月2回程度）



広島県歳入歳出決算審査意見書を知事に提出 令和2年9月10日



監査委員意見書を知事に提出 令和3年3月18日

《監査の流れ》

- ① 監査実施計画策定
- ② 監査の実施
- ③ 監査委員で監査結果報告を決定
- ④ 監査結果報告を知事等へ通知・公表
- ⑤ 知事等から措置状況の回答
- ⑥ 措置状況の公表
- ⑦ 監査結果のフォローアップ

7つの特別委員会の設置

～喫緊の行政課題に対して調査を進めます～

- 広島県議会では、本会議に提出された議案などを専門的に審査・調査し、議会閉会中も行政施策を審査・調査するため、県の部局単位で分けた6つの常任委員会を置き、また、複雑化、高度化する行政課題を横断的に審査・調査するため、特別委員会を常設的に置いています。
- 6月定例会では、デジタル化の推進、ゼロカーボン社会の実現、自然災害や新興感染症に対する危機管理など喫緊の課題に対応するために7つの特別委員会が設置されましたので紹介します。
- 私は、県土強靱化・危機管理強化対策特別委員会に所属しました。県民の命に直接係わる課題に対し、真摯に取り組んでまいります。

委員会名 (○○○○特別委員会)	審査・調査の内容
デジタルトランスフォーメーション推進・行財政対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ デジタルトランスフォーメーションの推進 ・ 行政経営の質的向上及び安定的な税財政運営の確立、分権改革の推進
未来を支える人づくり・少子化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての子供が夢を育むことができる社会づくり及び少子化対策 ・ 一人一人が生涯にわたって自己の能力と可能性を最大限に高める人材育成と環境づくり
地域魅力向上・適散適集社会づくり対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源を活用した本県の魅力及び価値の向上 ・ 個性豊かで多様な特性を生かした適散・適集な社会づくり
国際平和・観光振興対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際平和拠点ひろしま構想の推進による平和な国際社会の実現 ・ ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた観光振興対策
新産業振興・雇用対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス危機からの本県経済の早期回復、雇用対策の強化及び外国人材が活躍できる環境の整備 ・ 環境・エネルギー産業等の新たなビジネス及びイノベーションを通じた本県産業の競争力強化
県土強靱化・危機管理強化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災・減災、県土強靱化の推進及び平成30年7月豪雨災害の復旧・復興 ・ 新興感染症や自然災害等の危機管理体制の強化
広島都心エリア活性化推進特別委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 紙屋町・八丁堀周辺地区の高次都市機能の強化 ・ 基町エリアのまちづくり